

腰原研究室

森と都市の共生 循環型資源としての木造建築

人間・社会系部門



工学系研究科 建築学専攻

木質構造デザイン工学

<http://wood.iis.u-tokyo.ac.jp>

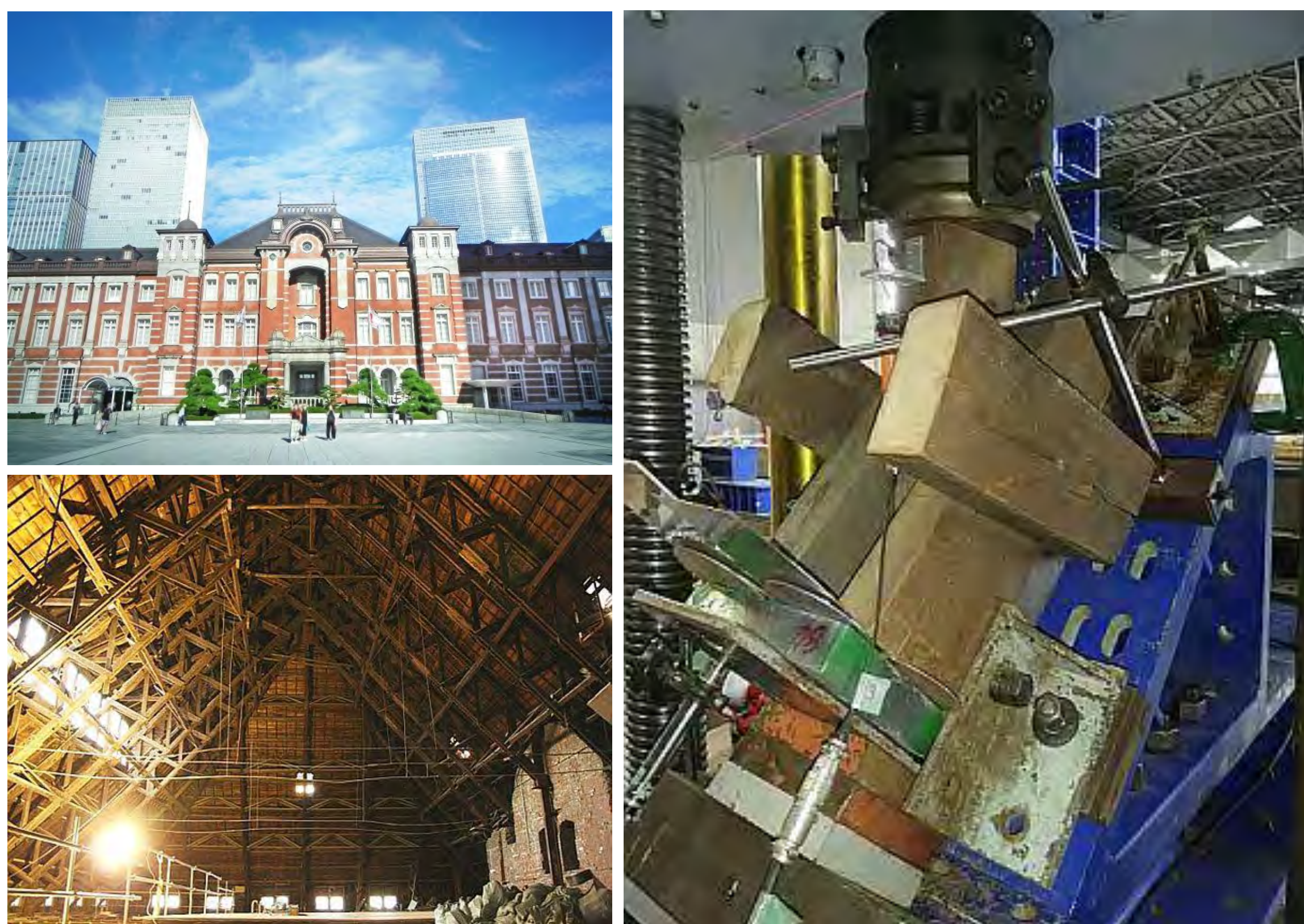
本研究室では主に木材を対象として建物のつくりかたである構法について調査・研究を行っています。研究対象としては文化財として登録されるような歴史的伝統・近代木造建築から現代木造建築、さらに煉瓦造建築等の研究まで幅広く進めています。そのほか建築の枠にとらわれず木材を利用したモノの制作を行うなど、学生が主体となって様々なプロジェクトに取り組んでいます。



近年の研究事例

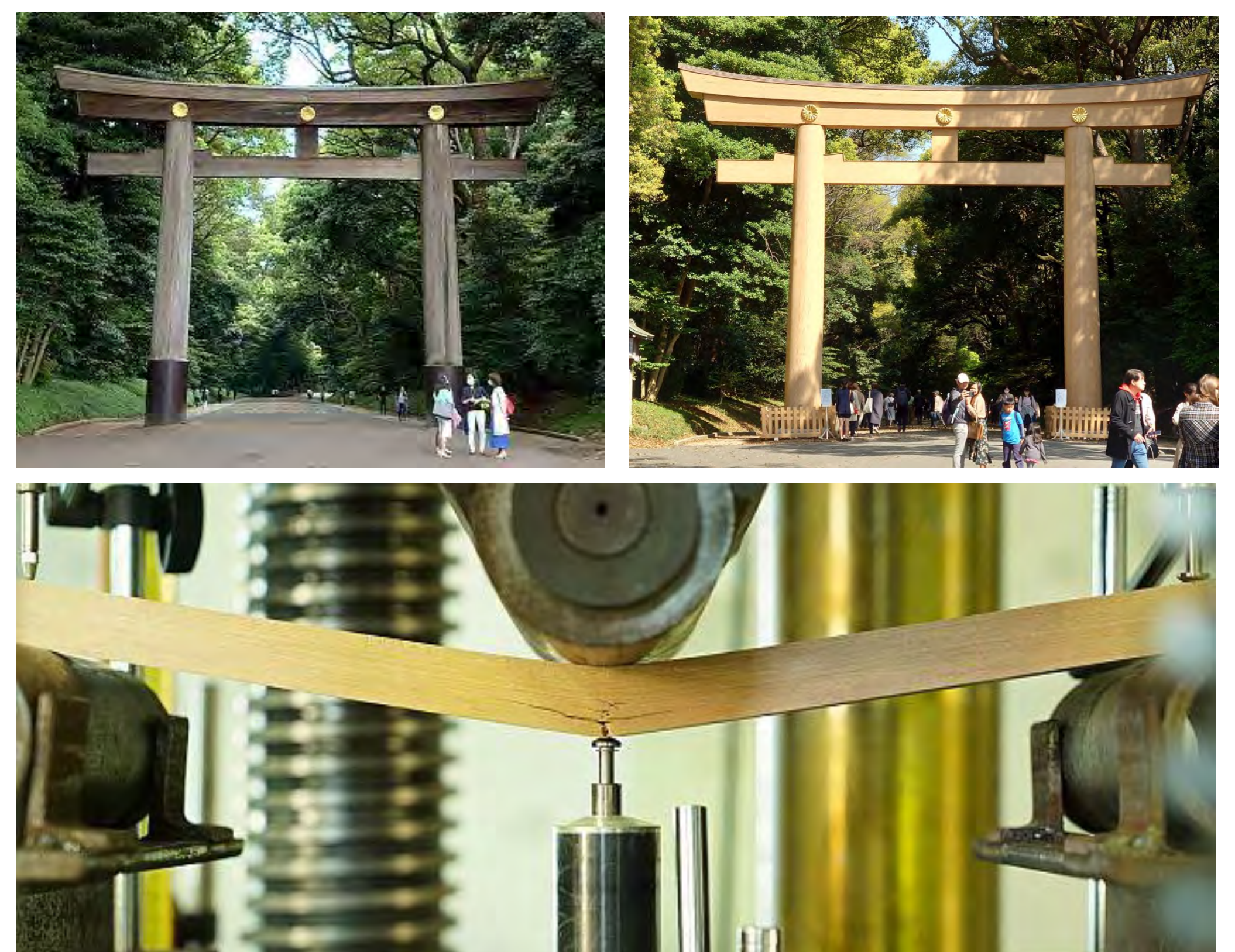
☑東京駅小屋組接合部実験(2022)

戦災復興後60年以上使い続けられてきた東京駅の小屋組みについて、その接合部における加力実験を行い強度の変化を検証しました。



☑明治神宮旧鳥居の強度測定(2023)

明治神宮南参道鳥居の建替えに伴い旧鳥居の柱より試験体を採取し、その強度測定を実施しました。



☑GIR接合およびLSB接合を用いた木質ラーメン実大実験(2023)

環境に配慮した建築の必要性から非住宅建造物の木造化が徐々に進んできていますが、RCなどの接合部に比べ木造の接合部は弱いことから接合部の強化が重要となります。本研究では接着剤を使用したGIRおよびラグスクリューボルト (LSB) 接合を用いた実大2層木質フレームにおける接合部の強度性能を検証しました。

